

## 平成 30 年度 第 2 回

### 流山市地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会 議事録

#### 1 日時

平成 30 年 7 月 23 日 月曜日

14 時 00 分から 15 時 30 分まで

#### 2 会場

ケアセンター 第 2・3 研修室

#### 3 出席

濱田竜也会長 宮本篤子副会長 吉田留美子委員 稲田衣子委員  
鈴木美智子委員 井川宏委員 篠塚博道委員 岡崎洋子委員  
岩井謙詞委員 池上諄一委員 紺野好美委員 塩谷節子委員  
麦倉顕子委員 櫻井寿一委員 (全 16 名中 14 名の出席)

傍聴人 なし

#### 4 議題

協議事項

- (1) 指定介護予防支援等の一部委託について
- (2) 地域包括支援センター第三者評価について

協議事項

- (1) 指定介護予防支援等の一部委託について

(事務局) 以下 6 か所の受託事業所について、運営協議会の議を経るもの。

- ① ナーシングプラザ流山
- ② ライブラリ流山居宅介護支援事業所

- ③ 居宅介護支援事業所なでしこ矢切
  - ④ ニチイケアセンター流山北
  - ⑤ 八幡苑居宅介護支援センター
  - ⑥ ハーブランド介護サービス流山居宅介護支援事業所
- ・質問なし

## 協議事項2

### (2) 地域包括支援センター第三者評価について

(会長)事務局からの説明の前に今年度の評価委員を紹介。

(事務局)今年度の地域包括支援センター第三者評価について説明。

#### ・協議内容1

平成30年7月4日に厚生労働省老健局より、「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について」の通知があり、全国で統一して用いる評価指標が示された。その評価指標を取り入れ今年度の第三者評価をしていくが、指標の中には地域包括支援センターというより市の評価として受け取ることができる指標があることから、該当する5つの指標について意見を頂戴したい。

(委員 A) 該当指標について、市はできているのでいらないのではないかと。また、市と地域包括支援センターの連携はとれていると思う。

(委員 B) 地域包括支援センターの事業等の捉え方や情報の把握度合を知ることができる。市と地域包括支援センターに認識の違いがあるなら指標を残す法がいいのではないかと。また、市と地域包括支援センターの連携関係も分かり全体的に評価することが出来る。

(委員 C) あくまで地域包括支援センターの評価であるので、改めて別の仕組みをとった方がいい。第三者評価は地域包括支援センターに係る評価指標に集約した方がいいと思う。もし、市と地域包括支援センターの関係を改善していくという意味合いなら、それに適したチェックシート等を用いる方がいい。

(委員 D) 該当の指標は主観が入る。また、どのような状態を市と地域包括支援センターが共有できているといえるのかが不明瞭である。

(会長) この場では結論がでないため、該当の指標の加除修正については市と評価委員の話し合いで決めることとする。

・事前質問1

「平成29年度事業報告書及び平成30年度事業計画書」の担当地域情報欄内の「地域特性」を「地域特性と問題点」とし、問題点の追加を希望する。理由として各地域の問題点をはっきりさせた方がいいからである。

(委員) 問題点をはっきりさせた方がいい。また、問題点という記載を設けることで地域包括支援センターに問題意識を持たせることができる。

(事務局) 地域の特性と問題点ではなく、地域の特性と課題とし、各地域の課題を認識してもらいたい。

(委員) 意見無し。

(会長) 地域特性と問題点ではなく、地域特性と課題とする。

## 5 その他

次回の運営協議会の予定が決まり次第連絡する。